

フープウェルダーク導入メリット

Merit of Hoop Welder

フープウェルダーク導入前

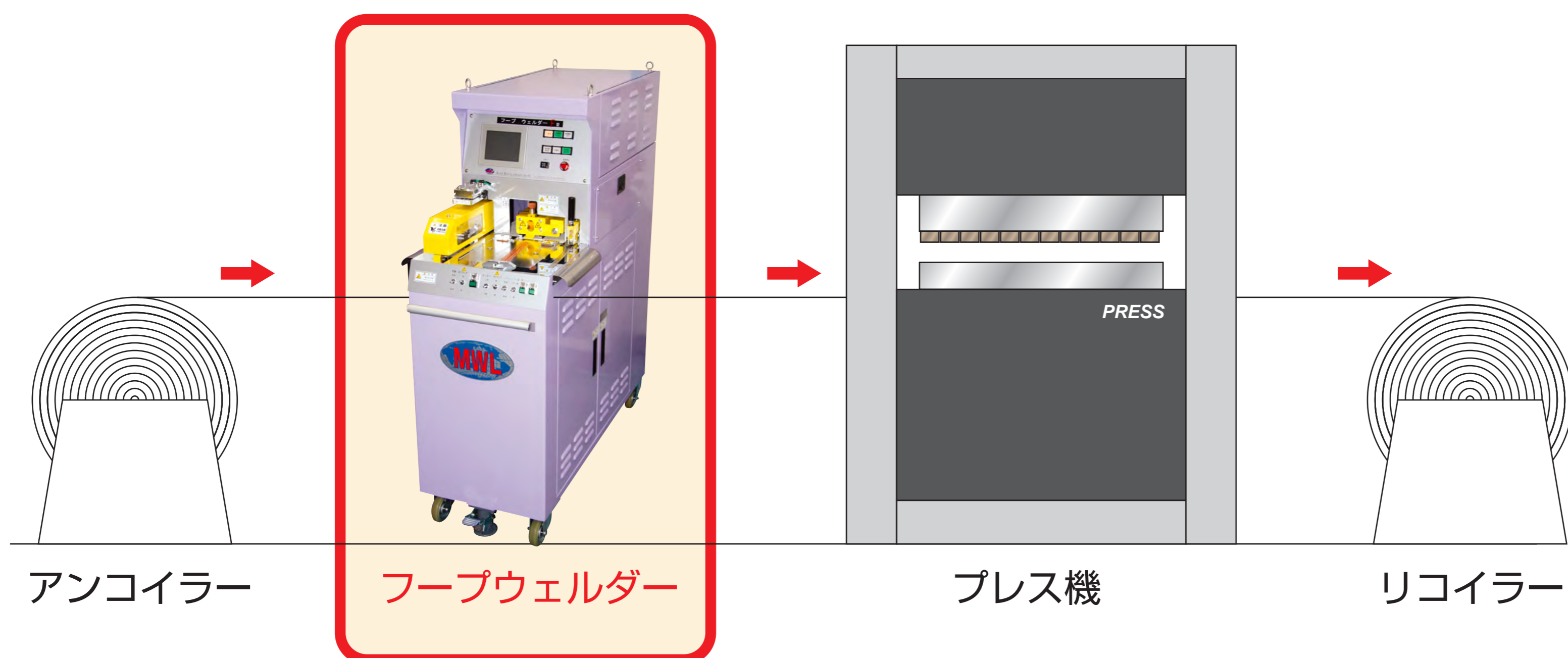
材料の継ぎ足しを行うときは…



生産準備ロス10Mと巻き取るための材料ロス3M=13Mのロスが必要
しかも、この作業には熟練工が必要です。

フープウェルダーク導入後

アンコイラーとプレス機の間にはフープウェルダークを設置します。キャスター付きのフープウェルダークは複数ラインに1台で対応できます。



●フープウェルダークの材料ロスは…

20cmでOK

●接合時間は **約1分**

従来工法の場合は14~29分

●さらに…

フープウェルダークの作業は熟練工が
必要ありません。

作業時間ロスの削減

950時間削減

1ライン、1台あたり従来工法で20分の作業時間とすると…従来工法=1台あたり20分×1日3回交換×5ライン×200日稼働=約1000時間
フープウェルダーク=1台あたり1分×1日3回交換×5ライン×200日稼働=約50時間

材料ロスの削減

38,400m削減

{従来(13m)-フープウェルダーク(0.2m)}×1日3回交換×5ライン×200日稼働=38,400m

フープウェルダークを使用する効果(1年間)

5ラインを持つ工場で1日3回接続、年間200日稼働の場合



株式会社 ムラタ溶研

www.mwl.co.jp